

UCC Smile Festa 2025 環境報告書

コーヒーの力で、 世界にポジティブな変化を

Vision

コーヒーは単なる豆ではありません。

人と人、社会、自然を結びつけ、私たちが奮い立たせ、行動を起こすエネルギーや活力を与えてくれます。

コーヒーには、世界にポジティブな変化をもたらす力があります。

UCC サステナビリティ指針は、持続可能な未来に向けた私たちのロードマップです。

自然と人々が、共に豊かであり続けて欲しいという、私たちの願いです。

サステナブルな調達、健康と教育の推進、環境保全、カーボンニュートラルの実現を通じ、サステナブルビジョンの達成を目指します。

その道のりは長く険しく、自分ひとりでは前に進めないこともあります。

でも、私たちには多くの仲間がいます。

共に手を携え歩いていくことで、人々に、社会に、自然に、ポジティブな影響をもたらすことができます。

より良い世界へ。

人、地球、コーヒーが共に栄える未来へ。

ひと粒のコーヒーから。

UCC
Every coffee, every moment

展示商談会のご案内

UCC Smile Festa 2025

Co-Creation
新たな価値を「共」に「創」る



“強い”お店になるために

名古屋会場

3/4(火) 10:00 - 17:00

3/5(水) 10:00 - 16:00

大阪会場

3/11(火) 10:00 - 17:00

3/12(水) 10:00 - 16:00

東京会場

3/25(火) 10:00 - 17:00

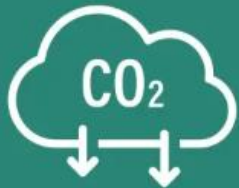
3/26(水) 10:00 - 16:00

札幌会場

4/2(水) 10:00 - 17:00

4/3(火) 10:00 - 16:00

<<資源循環型イベントの実現に向けた2つの取り組み軸>>



CO₂排出量の削減

地球温暖化の要因となる、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量の削減を目指します。

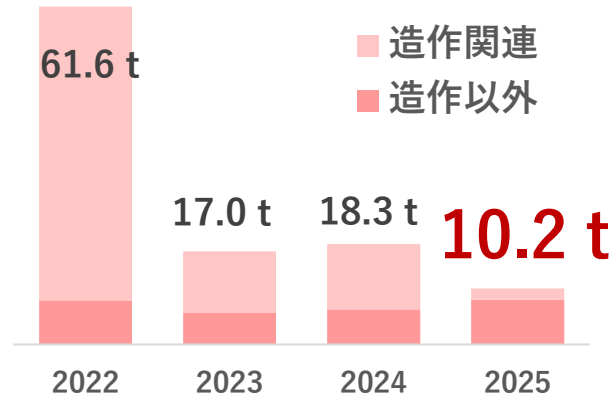


ゼロウェイスト

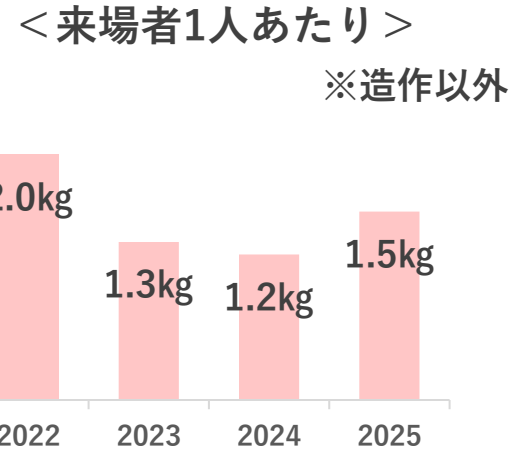
「ごみをゼロにする」ことを目標に、できるだけ“廃棄物”を減らします。

取り組み結果ハイライト

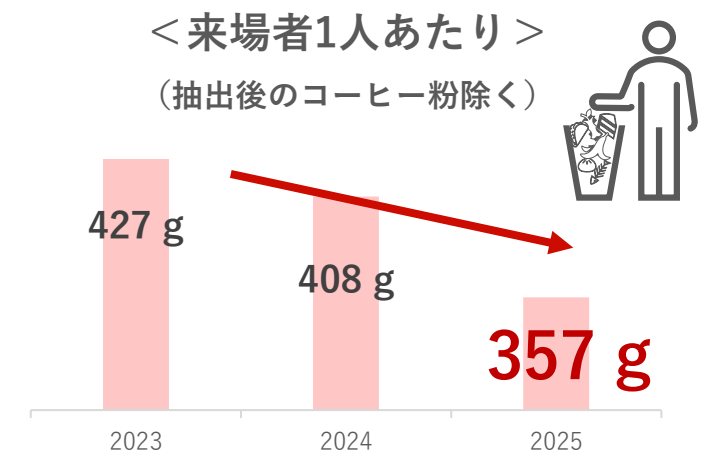
総廃棄物量



造作以外廃棄物量



食品廃棄物量

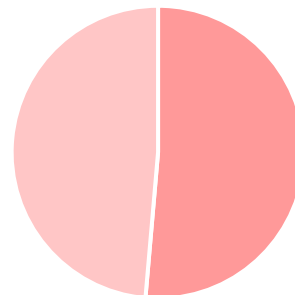


使い捨てプラスチック排出量



造作物のリサイクル比率

100%



■ マテリアルリサイクル ■ サーマルリカバリー

H A K U T E N

運搬におけるCO₂排出量

15.92t (2024) ➔ **11.54t** (2025)



廃棄物の分別処理



廃棄物は排出量そのものの削減を目指すとともに**リサイクル率を向上**すべく**適切な分別**を徹底。

造作部材の選定



リユース・リサイクル可能な部材のひとつに、**木単管（モクタンカン）**と呼ばれる木の丸棒を金属製のクランプで固定し組み立てる素材を採用。

食品ロスの削減



出展社間で余った未開封食品サンプルのシェア・持ち帰りを推進する**mottECO（もってこ）**コーナーと開封後の食品を持ち寄って試食する**tabetECO（食べてこ）**コーナーを設置。

脱プラスチック



UCCグループコーナーの試飲試食容器やカトラリー類をすべて**紙製・木製のものに統一**。

展示照明のLED化



各コーナーの照明には、消費電力が少なく、寿命も長い**LED照明**を採用。

印刷物デジタル化



チラシやカタログは、紙の使用量削減のため印刷・配布せず、コーナー内にて**QRコード**を掲示しデジタル化を推進。

CO2排出量の把握



会場電力、運搬用トラック、主催関係者の移動と宿泊による**CO2排出量**を**モニタリング**し削減施策に活用。

出展メーカーとの共創



事前説明会にて方針・目標・具体的**施策**を共有し、**連携体制**を構築。説明会后アンケートにて理解度・共感度・意見・要望をヒアリング。

2025年注力した取り組み<ゼロウェイスト>

2025年は、会場から排出される廃棄物のうち

今年は新たにリデュース・リサイクルに加え、リユースの取り組みによる廃棄物削減にチャレンジします。

食品残渣・プラスチックの削減に特に焦点をあてて、新たに次の取り組みを強化しました。

取り組み 01	取り組み 02	取り組み 03
		
<p>NEW</p> <p>オリジナルリユースタンブラーでの試飲提供</p> <hr/> <p>使い捨て資材の削減を目指し、オリジナルタンブラー（抽出後のコーヒー粉配合）を製作。サインのあるUCCグループブース（一部）にて試飲用カップとしてご使用ください。 ご使用後はおみやげとしてお持ち帰りいただけます。</p>	<p>NEW</p> <p>リサイクルステーションの設置</p> <hr/> <p>廃棄物のリサイクル率向上のために、色とデザインで識別性を上げて分別促進していた来場者用ごみ箱を1か所に集めたリサイクルステーションを新設。</p> <p>今年は食品残渣を堆肥化します。分別へのご協力をお願いします。</p>	<p>mottECO / tabetECO コーナーの設置</p> <p>※出展社さま向け※</p> <hr/> <p>食品ロス削減に向けて、各ブースの余った食材や商品サンプルを出展社間で共有する「mottECO※ / tabetECO」コーナーをバックヤードに設置。</p> <p>※環境省が提唱する、飲食店で食べきれなかった料理を「お客さまの自己責任で」持ち帰る行為の愛称。</p>



ゼロウェイスト

「ごみをゼロにする」ことを目標に、
できるだけ“廃棄物”を減らします。

- 2025年は、**使い捨てプラスチック排出量は 0.36t（前年比 ▲40%）**。食品廃棄物については、**全体で2.42t（前年比 ▲3%）**だったが、抽出後のコーヒー粉を除いた食品廃棄物量は**1.89t**で前年比 **▲14%の削減**となった。
- 来場者 1人あたりでみると、食品廃棄物量は **▲1%**（抽出後のコーヒー粉除いた廃棄物は**▲13%**）、使い捨てプラスチックは **▲38%**となり、いずれも前年より削減。
- 各会場のリサイクラーを見直し、**名古屋・東京会場においても、食品リサイクル（堆肥化・肥料化）**ができる体制になり、**全体のリサイクル率も向上**。
- 造作関連の廃棄物量は、前年の実施の際に設計段階で削減を見込んでいたが**増加**となった要因として、排出時の体積から重量換算をしていたため、正確性にかけていたため、**2025年は木材に関して搬出時に重量を計測し、廃棄物量の精緻化により、全体の排出量で▲83%**となった。

※ 焼却・埋め立て処理されたプラスチックを使い捨てプラスチックとして集計



CO₂排出量の削減

地球温暖化の要因となる、CO₂をはじめとする
温室効果ガスの排出量の削減を目指します。

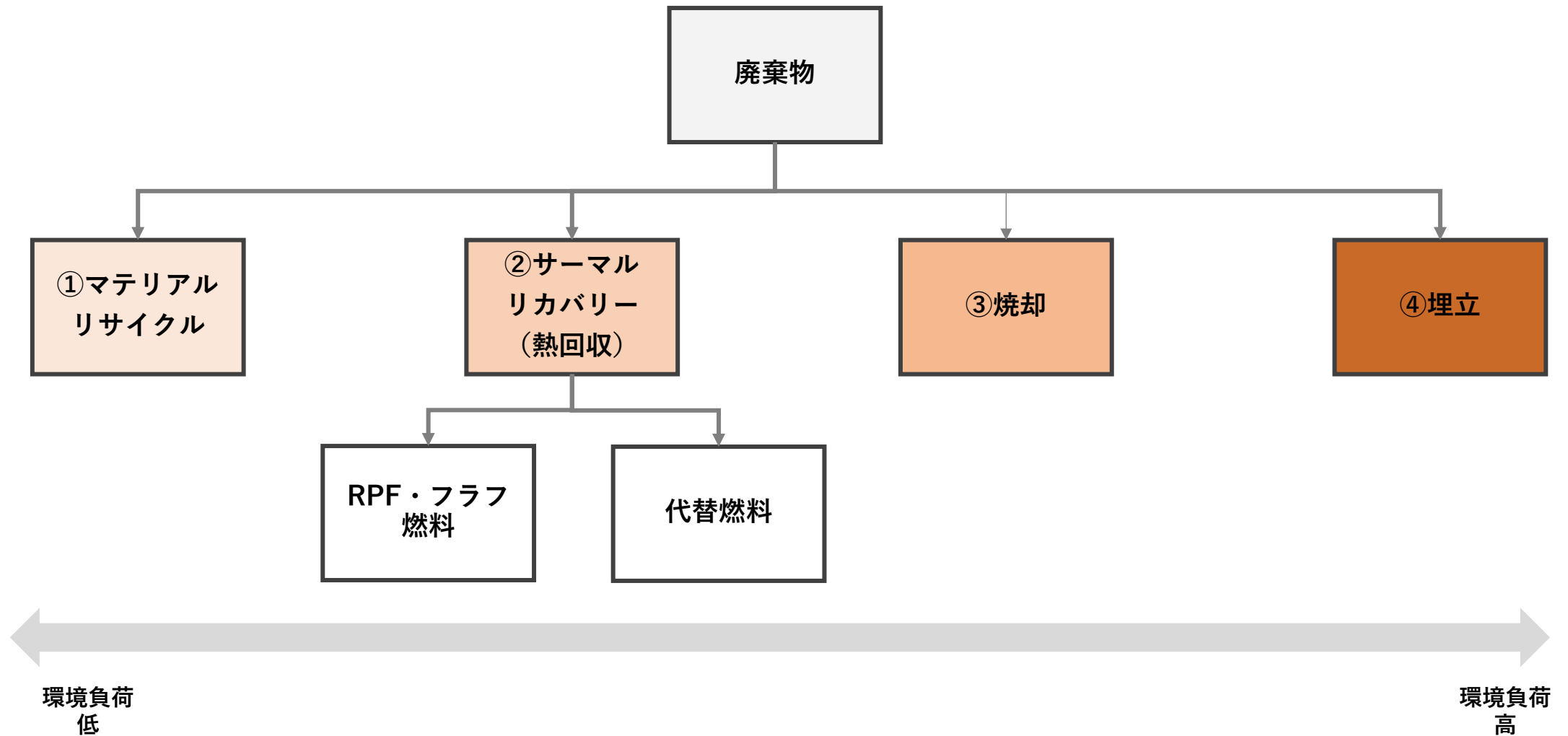
- 設計段階で**造作物を削減**するよう試みたことで**運搬トラック台数が減り、運搬トラックのCO₂排出量は27.5%削減**。
- **会場の電力利用にひもづくCO₂排出量**は、大阪会場と名古屋会場が昨年と会場が変更になり、特に**大阪会場が大型の展示場から会議場に変更**となったことで、**全体で52.4 %削減**。
- **関係者の移動・宿泊**は必要分の宿泊数におさえることと、可能な限り公共交通機関を活用することで、**21.7 %削減**。

UCC

**Every coffee,
every moment**

参考情報

(参考) 廃棄物の処理の方法



マテリアルリサイクルとは：廃棄物等を原材料として再利用すること。例えば、アルミ缶を溶かしてアルミ缶その他のアルミ製品を製造することなどが再生利用に当たる。
サーマルリカバリー（熱回収）とは：廃棄物から熱エネルギーを回収すること。ごみ発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用されている。

■総廃棄物 詳細（名古屋/大阪/東京 会場 合計）※札幌除く

分類	種別	〈UCC Smile festa 2025〉			〈UCC Smile festa 2024〉			〈前年対比〉		〈UCC Smile festa 2023〉			最終処理方法	備考
		排出量	来場者 あたり	構成比	排出量	来場者 あたり	構成比	増減率 (前年比)	来場者 あたり	排出量	来場者 あたり	構成比		
総合計 (1+2)		10.19t	—	—	18.31t	—	—	▲44%		16.99t	—	—		
会場で排出された廃棄物合計 (1)		8.14t	1.54kg	100%	6.41t	1.18kg	100%	27%	30%	5.85t	1.29kg	100%		【2025目標】2024排出量から5%減※
一般廃棄物	燃やすごみ	3.21t	0.61kg	39.5%	1.77t	0.33kg	27.6%	82%	86%	1.68t	0.37kg	28.8%	焼却・埋め立て	
	食品廃棄物 (A+B)	2.42t	0.46kg	—	2.49t	0.46kg	—	▲3%	▲1%	2.22t	0.49kg	—	食品リサイクル	※削減注力分別項目
	A) 食品廃棄物	1.89t	0.36kg	23.3%	2.21t	0.41kg	34.4%	▲14%	▲13%	1.94t	0.43kg	33.2%	食品リサイクル	※削減注力分別項目
	B) 抽出後のコーヒー粉	0.53t	0.10kg	6.4%	0.28t	0.05kg	4.3%	90%	94%	0.28t	0.06kg	4.7%	食品リサイクル	※削減注力分別項目
	汚れたプラスチック	0.36t	0.07kg	4.4%	0.59t	0.11kg	9.2%	▲40%	▲38%	0.67t	0.15kg	11.5%	会場による	※削減注力分別項目
産業廃棄物	きれいなプラスチック	0.22t	0.04kg	2.7%	0.18t	0.03kg	2.8%	22%	25%	0.09t	0.02kg	1.6%	会場による	
	使用済み紙カップ	0.00t	0.00kg	0.0%	0.02t	—	0.4%	▲100%	—	0.01t	0.00kg	0.1%	マテリアルリサイクル	2024年度のみ実施の分別
	ビン	0.04t	0.01kg	0.5%	0.01t	0.00kg	0.2%	163%	169%	0.03t	0.01kg	0.5%	マテリアルリサイクル	
	缶	0.02t	0.00kg	0.2%	0.02t	0.00kg	0.4%	▲34%	▲33%	0.03t	0.01kg	0.4%	マテリアルリサイクル	
	ペットボトル	0.05t	0.01kg	0.6%	0.10t	0.02kg	1.5%	▲47%	▲46%	0.05t	0.01kg	0.9%	マテリアルリサイクル	
	ダンボール	1.73t	0.33kg	21.2%	1.15t	0.21kg	18.0%	50%	53%	1.05t	0.23kg	17.9%	マテリアルリサイクル	
	廃油	0.10t	0.02kg	1.2%	0.07t	0.01kg	1.1%	31%	33%	0.03t	0.01kg	0.5%	マテリアルリサイクル	
造作関連の廃棄物合計 (2)		2.04t	—	100.0%	11.90t	—	100.0%	▲83%	—	11.14t	—	100.0%		※木工以外は体積を測定し、重量換算 【2025目標】2024排出量から30%減
産業廃棄物	紙くず	0.00t		0%	0.00t		0.0%	—		0.00t		0.0%	マテリアルリサイクル	2025実測値 0.00㎡
	廃プラスチック	1.05t		51%	0.70t		5.9%	50%		0.00t		0.0%	マテリアルリサイクル	2025実測値 3.00㎡
	木くず	0.99t		49%	9.90t		83.2%	▲90%		8.80t		79.0%	サーマルリカバリー	2025実測値 中間処理業者の算定は23.00㎡/事前重量計測で0.99t
	金属くず	0.00t		0%	0.00t		0.0%	—		0.00t		0.0%	マテリアルリサイクル	2025実測値 0.00㎡
	がれき類	0.00t		0%	0.00t		0.0%	—		0.00t		0.0%	マテリアルリサイクル	2025実測値 0.00㎡
	混合廃棄物	0.00t		0%	1.30t		10.9%	▲100%		2.34t		21.0%	マテリアルリサイクル	2025実測値 0.00㎡

■会場から排出された廃棄物 詳細（会場別詳細）

会場	分類	種別	2025 排出量	構成比	2024 排出量	増減率 (前年比)	2023 排出量	2022 排出量	最終処理方法 (2025)	備考	
大阪会場	合計		2243.7kg	100.0%	2048.0kg	10%	1571.2kg	1924.2kg			
	一般廃棄物	燃やすごみ	964.9kg	43.0%	641.3kg	50%	541.4kg	804.6kg	焼却・埋め立て		
		汚れたプラスチック	92.1kg	4.1%	258.7kg	-64%	228.6kg	75.4kg	焼却・埋め立て	会場で計測	
	産業廃棄物	食品廃棄物 (A+B)		620.0kg	27.6%	680.0kg	-9%	530.0kg	600.0kg	食品リサイクル (炭化)	
		A) 食品廃棄物		512.3kg	22.8%	573.7kg	-11%	395.7kg	分別未実施		
		B) 抽出後のコーヒー粉		107.7kg	4.8%	106.3kg	1%	134.3kg	分別未実施		
		きれいなプラスチック		140.0kg	6.2%	120.0kg	17%	0.0kg	190.0kg	サーマルリカバリー	
		ビン		10.3kg	0.5%	2.0kg	415%	10.0kg	10.0kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶		5.5kg	0.2%	4.3kg	28%	10.0kg	15.0kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル		8.5kg	0.4%	20.2kg	-58%	16.0kg	8.0kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール		378.0kg	16.8%	314.0kg	20%	225.0kg	200.0kg	マテリアルリサイクル	
廃油		24.4kg	1.1%	0.0kg	#DIV/0!	10.2kg	21.2kg	マテリアルリサイクル	会場で計測		
使用済み紙カップ		-	-	7.5kg		0.0kg	-	マテリアルリサイクル	2024年度のみ実施の分別		
名古屋会場	合計		2612.0kg	100.00%	1987.7kg	31%	1826.4kg	3155.9kg			
	一般廃棄物	燃やすごみ	1074.8kg	41.15%	609.4kg	76%	585.7kg	1495.0kg	焼却・埋め立て		
		食品廃棄物 (A+B)		715.1kg	27.38%	777.0kg	-8%	663.8kg	881.2kg	食品リサイクル (堆肥化)	2025年度よりリサイクル (堆肥化) 可能に。 会場で計測
		A) 食品廃棄物		542.3kg	20.76%	690.6kg	-21%	608.2kg	分別未実施		
		B) 抽出後のコーヒー粉		172.8kg	6.62%	86.4kg	100%	55.6kg	分別未実施		
	産業廃棄物	汚れたプラスチック		67.1kg	2.57%	95.7kg	-30%	176.5kg	314.0kg	焼却・埋め立て	会場で計測
		きれいなプラスチック		51.1kg	1.96%	53.5kg	-4%	64.4kg	126.4kg	サーマルリカバリー	会場で計測
		ビン		3.7kg	0.14%	3.4kg	10%	2.3kg	3.3kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶		4.3kg	0.16%	8.0kg	-46%	3.5kg	6.1kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル		13.1kg	0.50%	32.2kg	-59%	11.8kg	12.4kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール		650.0kg	24.89%	350.0kg	86%	310.0kg	300.0kg	マテリアルリサイクル	
廃油		32.8kg	1.26%	51.2kg	-36%	8.4kg	17.5kg	マテリアルリサイクル	会場で計測		
使用済み紙カップ		-	-	7.5kg	0%	0.0kg	-	マテリアルリサイクル	2024年度のみ実施の分別		

■会場から排出された廃棄物 詳細（会場別詳細）

会場	分類	種別	2025 排出量	構成比	2024 排出量	増減率 (前年比)	2023 排出量	2022 排出量	最終処理方法 (2025)	備考
東京会場	合計		3286.7kg	100.0%	2378.6kg	38%	2447.7kg	2908.4kg		
	一般廃棄物	燃やすごみ	1175.0kg	35.8%	518.9kg	126%	557.3kg	802.7kg	焼却・埋め立て	会場で計測 (計測付き車両にて)
		食品廃棄物 (A+B)	1083.0kg	33.0%	1028.8kg	5%	1021.8kg	1089.1kg	食品リサイクル (肥料化)	2025年度よりリサイクル (堆肥化) 可能に。 会場で計測 (計測付き車両にて)
		A) 食品廃棄物	838.5kg	25.5%	945.4kg	-11%	935.2kg	分別未実施		
		B) 抽出後のコーヒー粉	244.5kg	7.4%	83.5kg	193%	86.6kg	分別未実施		
		汚れたプラスチック	198.7kg	6.0%	239.0kg	-17%	259.9kg	222.8kg	サーマルリカバリー	2025年度よりサーマル (発電) 可能に。 会場で計測
	きれいなプラスチック	30.9kg	0.9%	7.9kg	291%	30.5kg	172.9kg	サーマルリカバリー	2025年度よりサーマル (RPF化) 可能に。 会場で計測	
	産業廃棄物	ビン	24.6kg	0.7%	9.3kg	164%	15.0kg	10.2kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶	6.3kg	0.2%	12.2kg	-49%	12.0kg	8.9kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル	28.8kg	0.9%	43.3kg	-34%	24.0kg	27.3kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール	701.6kg	21.3%	489.1kg	43%	511.1kg	555.8kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
		廃油	38.0kg	1.2%	21.8kg	75%	11.1kg	18.7kg	マテリアルリサイクル	会場で計測
使用済み紙カップ		-	-	8.5kg	0%	5.2kg	-	マテリアルリサイクル	2024年度のみ実施の分別	
札幌会場	合計		1003.1kg	100%	1164.0kg	-14%	1063.3kg	-		
	一般廃棄物	燃やすごみ	268.6kg	26.8%	320.0kg	-16%	151.7kg	-	焼却・埋め立て	会場で計測
		食品廃棄物 (A+B)	460.4kg	45.9%	486.2kg	-5%	550.7kg	-	焼却・埋め立て	会場で計測
		A) 食品廃棄物	446.7kg	44.5%	473.6kg	-6%	531.0kg	-	焼却・埋め立て	会場で計測
		B) 抽出後のコーヒー粉	13.7kg	1.4%	12.6kg	9%	19.7kg	-	焼却・埋め立て	会場で計測
		汚れたプラスチック	41.0kg	4.1%	60.0kg	-32%	120.4kg	-	焼却・埋め立て	会場で計測
	産業廃棄物	きれいなプラスチック	0.0kg	0.0%	28.4kg	-100%	11.9kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ビン	10.2kg	1.0%	24.1kg	-58%	3.3kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測
		缶	3.0kg	0.3%	1.9kg	58%	3.1kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ペットボトル	12.6kg	1.3%	33.5kg	-62%	22.5kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測
		ダンボール	207.3kg	20.7%	209.9kg	-1%	199.9kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測
廃油		0.0kg	0.0%	0.0kg	0%	0.0kg	-	マテリアルリサイクル	会場で計測	

■造作関連の廃棄物 詳細

▼排出実績 [m³] 東明興業からのデータ

	2025	2024	2023	2022	処理
木くず	23.00	18.00	16.00	92.60	サーマルリカバリー
混合廃棄物	0.00	5.00	9.00	7.70	マテリアルリサイクル
廃プラスチック	3.00	2.00	0.00	0.00	マテリアルリサイクル
紙くず	0.00	0.00	0.00	0.20	マテリアルリサイクル
金属くず	0.00	0.00	0.00	0.40	マテリアルリサイクル
がれき類	0.00	0.00	0.00	0.10	マテリアルリサイクル
合計	26.00	25.00	25.00	101.00	

▼重量換算 [t]

	2025	2024	2023	2022	換算係数 [t/m ³]
木くず	0.99	9.90	8.80	50.93	0.55
混合廃棄物	0.00	1.30	2.34	2.00	0.26
廃プラスチック	1.05	0.70	0.00	0.00	0.35
紙くず	0.00	0.00	0.00	0.06	0.30
金属くず	0.00	0.00	0.00	0.45	1.13
がれき類	0.00	0.00	0.00	0.10	1.00
合計	2.04	11.90	11.14	53.54	

※木くずは2025年はT-BASEで重量計算

▼計算内容詳細

造作関連 (東明興業実績)	2025		重量換算		2024		2023		2022		共通 換算係数
	排出実績 (m ³)	重量換算 (t)	構成比	増減率 (2022比)	排出実績 (m ³)	重量換算 (t)	排出実績 (m ³)	重量換算 (t)	排出実績 (m ³)	重量換算 (t)	
木くず	0.99	0.99t	48.62%	-90.0%	18.00m ³	9.90t	16.00m ³	8.80t	92.60m ³	50.93t	0.55
混合廃棄物	0.00	0.00t	0.00%	-100.0%	5.00m ³	1.30t	9.00m ³	2.34t	7.70m ³	2.00t	0.26
廃プラスチック	3.00	1.05t	51.38%	50.0%	2.00m ³	0.70t	0.00m ³	0.00t	0.00m ³	0.00t	0.35
紙くず	0.00	0.00t	0.00%	#DIV/0!	0.00m ³	0.00t	0.00m ³	0.00t	0.20m ³	0.06t	0.30
金属くず	0.00	0.00t	0.00%	#DIV/0!	0.00m ³	0.00t	0.00m ³	0.00t	0.40m ³	0.45t	1.13
がれき類	0.00	0.00t	0.00%	#DIV/0!	0.00m ³	0.00t	0.00m ³	0.00t	0.10m ³	0.10t	1.00
造作合計 (2)	3.99	2.04t	100.00%	-82.8%	25.00m ³	11.90t	25.00m ³	11.14t	101.00m ³	53.54t	
会場廃棄物合計 (1)	—	8.14t		26.9%	—	6.41t	—	5.85t	—	8.05t	
総合計 (1 + 2)	—	10.18t		-44.4%	—	18.31t	—	16.99t	—	61.59t	

※木くずは2025年はT-BASEで重量計算

※産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について (通知) をもとにして換算

CO2排出量 詳細

分類	会場	2025年 排出量 [t-CO2]	2024年 排出量 [t-CO2]	増減率 (前年比)	2023年 排出量 [t-CO2]	2022年 排出量 [t-CO2]	備考
運搬トラック	大阪	4.26	8.12	-47.5 %	7.14	9.58	算定には「トラック運送事業者用 CO2排出量簡易算定ツール 帳票フォーマットVer.4 STEP2 C」を採用 https://jta.or.jp/member/kankyo/vision2030tools.html
	名古屋	5.43	6.04	-10.2 %	8.46	8.49	
	東京	1.85	1.76	5.0 %	1.81	1.92	
	計	11.54	15.92	-27.5%	17.40	19.99	
会場の電力利用	大阪	0.52	4.66	-88.7 %	2.42	3.19	各会場の電力会社の排出係数をもとに算定
	名古屋	2.76	2.97	-7.1 %	2.84	2.86	
	東京	0.66	0.68	-1.9 %	0.82	1.07	
	計	3.95	8.30	-52.4 %	6.08	7.11	
関係者の 移動・宿泊	大阪	4.11	5.83	-29.5 %	5.66	—	主催者企画関係者の移動・宿泊による排出量を2023より算定 移動はオフィス⇄会場間として算定
	名古屋	3.84	4.68	-17.9 %	5.08	—	
	東京	0.33	0.07	381.4 %	0.36	—	
	計	8.29	10.58	-21.7 %	11.10	—	
合計		23.77	34.80	-31.7 %	34.59	27.10	

CO2排出量 合計 23.22 t-CO2 = CO2排出 相当量 (スギの木) 1,658 本相当^{※2}

※2) スギの木 (樹齢80年) が1年間に吸収する二酸化炭素量 = 14kg-CO2

昨年同様、造作物の全体量を削減したことにより、運搬トラックの台数の削減につながり、CO2排出量が減少。

CO2排出量 – 運搬トラック [t-CO2]

会場	2025	2024	2023	2022	増減率 (2025 前年比)
大阪	4.26	6.04	8.46	9.58	-29.39%
名古屋	5.43	8.12	7.14	8.49	-33.16%
東京	1.85	1.76	1.81	1.92	5.01%
総合計	11.54	15.92	17.40	19.99	-27.50%

トラック運送事業者用CO2排出量簡易算定ツール
STEP2にて燃料種別、燃料使用量、走行距離、最大積載量より算出
<https://jta.or.jp/member/kankyo/vision2030tools.html>

CO2排出量 – 人の移動・宿泊 [t-CO2]

	会場	2025	2024	2023	増減率 (2025 前年比)
移動	大阪	1.44	1.74	1.94	-17.4%
	名古屋	1.17	1.15	1.49	1.12%
	東京	0.11	0.07	0.07	58.97%
	計	2.71	2.96	3.50	-8.42%
宿泊	大阪	2.68	4.10	3.72	-34.62%
	名古屋	2.68	3.53	3.59	-24.11%
	東京	0.22	0.00	0.28	-
	計	5.58	7.62	7.59	-26.86%
移動+宿泊	大阪	4.11	5.83	5.66	-29.49%
	名古屋	3.84	4.68	5.08	-17.90%
	東京	0.33	0.07	0.36	381.45%
	合計	8.29	10.58	11.10	-21.70%

・移動の単位

種別	GHG排出係数		出典
鉄道	0.028	kg-CO2/人・km	国土交通省 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei-environment_tk_000007.html
自家用車	0.131	kg-CO2/人・km	
航空	0.133	kg-CO2/人・km	
バス	0.109	kg-CO2/人・km	
電力	0.443	kg-CO2/kWh	電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用） https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r04_coefficient_rev.pdf -R2年度実績- R4.1.7環境省・経済産業省公表、R4.2.17一部修正
水道	0.245	kg-CO2/m ³	東京都水道局 https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/co2.html
宿泊	31.5	kg-CO2/泊	

・宿泊の単位

…サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出などの算定の為の排出原単位データベース（Ver.2.5）を適用

CO2排出量 – 会場の電力利用

《UCC Smile Festa 2025》

2025年 排出量 [t-CO2]	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)	2025/3/4-5 (2日間)	6,556	2.76	-7.08%	0.000421	中部電力ミライズ株式会社
グランキューブ大阪 3F	2025/3/11-12 (2日間)	1,251	0.52	-88.74%	0.000419	関西電力株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2025/3/25-26 (2日間)	1,540	0.66	-1.87%	0.000431	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		9,347	3.95	-52%		

《UCC Smile Festa 2024》

2024年 排出量 [t-CO2]	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
インテックス大阪 (5号館)	2024/3/12-13 (2日間)	10,463	4.66	※5 92.2%	0.000445	テブコカスタマーサービス株式会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2024/2/27-28 (2日間)	6,860	2.97	4.7%	0.000433	中部電力ミライズ株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2024/3/26-27 (2日間)	1,480	0.68	-17.8%	0.000457	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		18,803	8.30	36.5%		

《UCC Smile Festa 2023》

2023年 排出量 [t-CO2]	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2023/3/7-8 (2日間)	6,320	2.84	-0.7%	0.000449	中部電力ミライズ株式会社
インテックス大阪 (3号館)	2023/3/14-15 (2日間)	4,213	2.42	-23.9%	0.000575	テブコカスタマーサービス株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2023/3/28-29 (2日間)	1,800	0.82	-22.9%	0.000457	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		12,333	6.08	-14.4%		

《UCC Smile Festa 2022》

2022年 排出量 [t-CO2]	開催期間	電気使用量 [kWh]	排出量 [t-CO2]	前年比	排出係数 [t-CO2/kWh]	電力会社
インテックス大阪 (5号館A)	2022/3/15-16 (2日間)	6,924	3.19	—	0.000460	テブコカスタマーサービス株式会社
ポートメッセなごや (第2展示館)	2022/3/22-23 (2日間)	7,040	2.86	—	0.000406	中部電力ミライズ株式会社
東京流通センター (第一展示場)	2022/3/29-31 (3日間)	2,407	1.07	—	0.000443	東京電力エナジーパートナー株式会社
3会場合計		16,371	7.11	—		

環境省 温室効果ガス排出量 算定方法・排出係数一覧

<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

電気事業者別排出係数一覧

https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_coefficient_rev_2.pdf

※5) 大阪会場は2024年 インテックス大阪 5号館を、2023年 同施設 3号館を利用。場所による違いとともに、事前の会場使用有無により暖房の立ち上がり電力に差が生じたことが排出量増加の要因と推察。